

松本は周囲の山々から生まれる
清らかな水を地下にたくわえた町です。
水をテーマに、歴史や町並みを
歩いて楽しめるコースをご案内します。



発行：松本市、松本観光コンベンション協会、新まつもと物語プロジェクト



水の生まれる街 所要時間 約35分

水音が聞こえる。
湧き出した水が集まって川となり、
人々の生活を支えてきた街を歩く。

- 1 日の出の泉 薬祖水**
薬祖神社には「薬の神様」が祀られている
- 2 伊織霊水**
百姓一揆「加助騒動」の農民たちの救済に
尽くした鈴木伊織がここに眠る
- 3 中町**
蔵のまちで有名
- 4 蔵の井戸**
宮村町にあった通り酒屋を移築再建
- 5 源智の井戸**
天保14年に著された「善光寺通所図会」に
「当国第一の名水」と称賛されている井戸
- 6 古民家の前の水路**
水音を耳をすまして
- 7 源地の水源地井戸**
江戸時代からの町屋の水源地



時代とともに 守られた水 所要時間 約30分

平安時代の官道の
旅人の泉。戦国時代・江戸時代から
人々の暮らしの中にあつた水。
そして、現在へと続く。

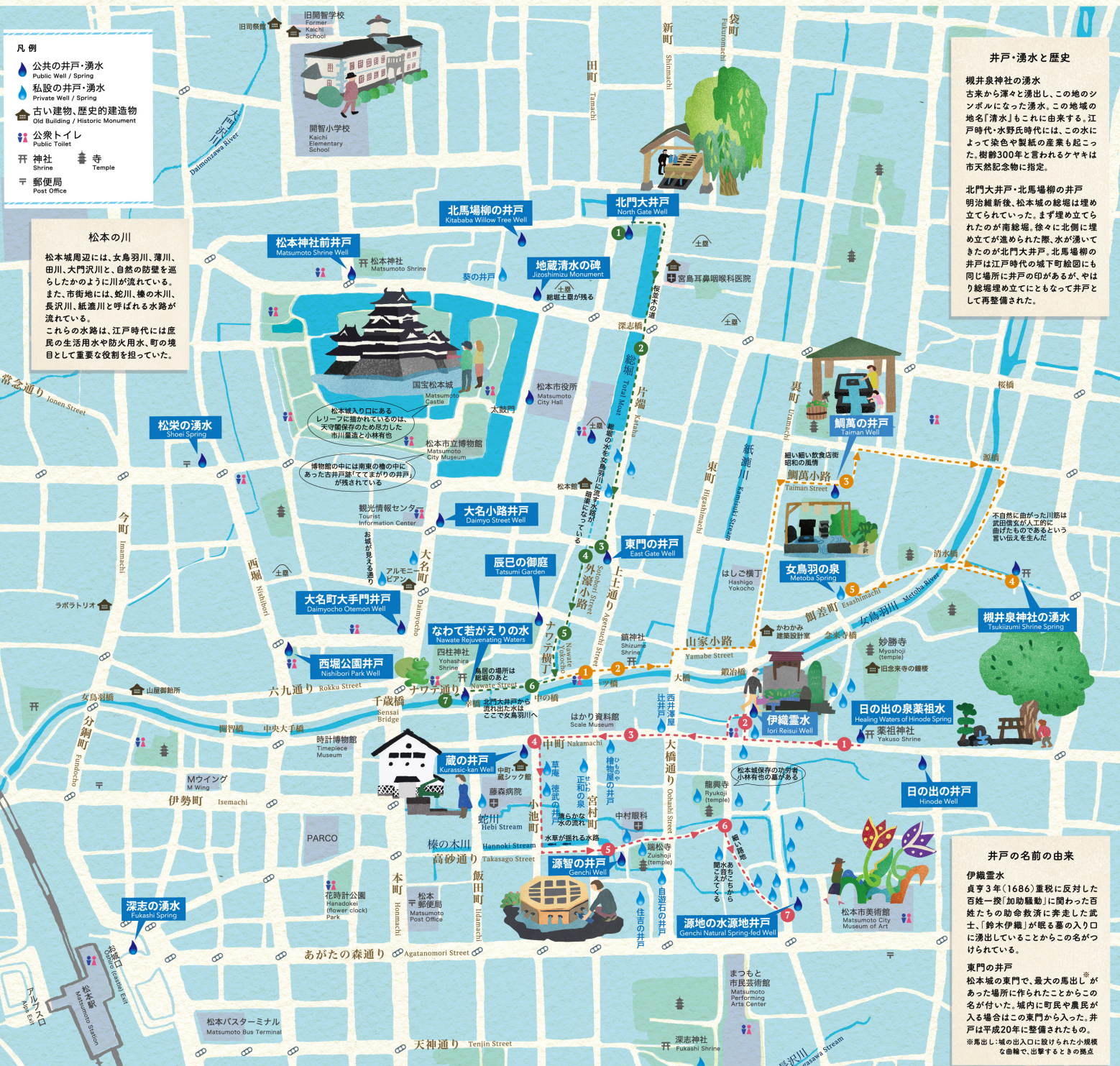
- 1 ナワテ通り**
カエルのまちで有名
- 2 鎮神社**
女鳥羽川の氾濫を鎮めるために建てられた
神社
- 3 山家小路、裏町を巡って鯛萬小路へ**
鯛萬小路の入り口は見落としやすいので注意
看板あり
- 5 鯛萬の井戸**
かつてここに料亭「鯛萬」があり名付けられた
井戸
- 4 槻井泉神社の湧水**
高さ20mのケヤキの下に湧く泉
平安時代には近くを官道が通った
古くからの水
- 5 女鳥羽の泉**
松本市街地唯一の醸造元
湧水で作る酒や甘酒は美味と評判



お堀の水を たどる 所要時間 約20分

松本城のお堀の水が
街を縫うように流れている。
その水の行方をたどる

- 1 北門大井戸**
堀を埋め立てたときに
湧き出した水
- 2 片端の総堀**
松本城の総堀で残っているのはここだけ
- 3 東門の井戸**
ここに松本城の東門馬出しがあった
▼ 松本ホテル花月の脇の階段を降りる
看板あり
- 4 外濠小路**
「土上(あげつち)」の名の由来となった
堀の土を上上げた場所
道の両側に高低差がある
- 5 ナワテ横丁**
総堀の水を流す水路が流れている
- 6 緑橋**
かつての水路の名残
- 7 女鳥羽川**



凡例

- 公共の井戸・湧水 Public Well / Spring
- 私設の井戸・湧水 Private Well / Spring
- 古い建物、歴史的建造物 Old Building / Historic Monument
- 公衆トイレ Public Toilet
- 神社 Shrine
- 寺 Temple
- 郵便局 Post Office

松本の川

松本城周辺には、女鳥羽川、薄川、田川、大門沢川と、自然の防壁を巡らしたかのように川が流れている。また、市街地には、蛇川、榎の木川、長沢川、紙漉川と呼ばれる水路が流れている。これらの水路は、江戸時代には庶民の生活用水や防火用水、町の境目として重要な役割を担っていた。

井戸・湧水と歴史

槻井泉神社の湧水
古来から湧々と湧出し、この地のシンボルになった湧水。この地域の地名「清水」もこれに由来する。江戸時代・水野氏時代には、この水によって染色や製紙の産業も起こった。樹齢300年と言われるケヤキは市天然記念物に指定。

北門大井戸・北馬場柳の井戸
明治維新後、松本城の総堀は埋め立てられていった。まず埋め立てられたのが南総堀。徐々に北側に埋め立てが進められた際、水が湧いてきたのが北門大井戸。北馬場柳の井戸は江戸時代の町下町絵図にも同じ場所に井戸の印があるが、やはり総堀埋め立てにもなっており井戸として再整備された。

本自然に曲がった川筋は
松田徳家が人工的に
曲げたものであるといふ
言い伝えをまんだ

井戸の名前の由来

伊織霊水
貞享3年(1686)重税に反対した百姓一揆「加助騒動」に関わった武士、「鈴木伊織」が眠る蔵の入り口に湧き出していることからこの名がつけられている。

東門の井戸
松本城の東門で、最大の馬出し[※]があった場所で作られたことからこの名が付けられた。城内に町民や農民が入る場合はこの東門から入った。井戸は平成20年に整備されたもの。
[※]馬出し：城の出入口に設けられた小規模な曲輪で、出撃するときの拠点